

第9回 水辺の匠 クリスマス・イベント 活動のふりかえり



1. 活動内容

3年ぶりに開催された「第9回 水辺の匠クリスマスイベント」に、子どもを対象としたプラごみを使ったワークショップのブースを出展し、啓発活動を行った。

【水辺の匠・クリスマスイベント】 ウォーターステーション琵琶の会・住民団体と琵琶湖河川事務所が連携して年末に子ども向けに実施している。アクア琵琶では、「瀬田川洗堰見学ツアー」「湖水守による水質調査体験」等、洗堰の運用や水質監視など事務所の役割を紹介し、ウォーターステーション琵琶では、参加団体によるXmasグッズづくりのワークショップや演奏会、サンタさんからのプレゼントが実施される。

【日時】 2023年12月3日（日） 9時～15時30分

【場所】 ウォーターステーション琵琶とアクア琵琶
(ワークショップは、ウォーターステーション1階)

【参加団体】 18団体 全体スタッフ：80名

【来場者】 400名

【当会参加スタッフ】 4名

【当会のブース】 ワorkshop「マイ・サンタを作って遊ぼう」（参加無料）

【内容】 手作りの動くサンタのおもちゃを作って、その場で遊んで楽しむ。

- ① 走るサンタ・・・折り紙のサンタを紙コップにはり、その紙コップの中にゴムで固定したペットボトルキャップを車輪にして走らせて遊ぶ
- ② 登るサンタ・・・折り紙のサンタの裏に発泡スチロール板を貼り、短いストローをハの字にとめ、その中にタコ糸を通す。両側の糸を引くとサンタが壁を登っていく。



2. 結果

(当会の参加人数) ① 走るサンタ：17名 ②登るサンタ：14名

- (感想)
- ・全体的に参加する子どもの数が少なかった。
 - ・無料のワークショップだからこそ、もっと出し物を工夫し精査すべきだった。
 - ・会場が狭くて動きにくかった。不慣れな内容だったことで、余裕がなかった。



クリスマスイベント 全体スタッフ



第6回 子どもまちづくりフェス に出展 活動のふりかえり

1. 活動内容

【子どもまちづくりフェス】

大津百町館を中心に、10数件のブースが配置される。子どもサポーター（21名）も出展者としてブースに入りお手伝いをする中で、より良い社会づくりのために大人との交流を通じて発信力・協調性を得られる体験をする。

目的：環境・経済・社会・福祉をテーマにする団体が出展し、子供達はその活動を体験する
スタンプラリー：参加ブースでスタンプがもらえる、5つ集めるとプレゼントと引き換える。

参加費：出展者も参加者も無料

主催：NPO 法人 HCC グループ

【日時】 2024年3月20日（水・祝）10時～15時

【場所】 大津百町館 と 大津曳山展示館・なかまち商店街およびその周辺

- 【当会の出展】
- ・紙芝居形式のプラごみクイズ2024版で出展。出題数15問。所要時間は15分。
 - ・パネル1枚、机1台、椅子6脚。
 - ・9:30過ぎに子どもサポーター3名が到着。クイズの説明。開会式があった。
 - ・10時～11時まで、3名の子どもサポーターを中心にクイズを出題。
 - ・その後は、スタッフ2名1組が交代しながら、プラごみクイズを行った。
 - ・12時から昼食休憩。事前予約した出店のお弁当などを食した。

【当会参加スタッフ】 4名

【こどもサポーター】 3名（小3、小4、小5）

2. 結果

プラごみクイズ実施回数： 18回

参加者数 : 108人

- 【感想】
- ・子どもサポーターの小学生が、物おじしないで積極的に行動することに驚いた。3Rから4Rの内容やマイクロプラスチック問題など、いろいろな環境の知識もすでに知っていて、出題だけでなくコメントも大人顔負けのアドリブを利かせていた。
 - ・子どもと共同で活動することは、我々にとっても大きな啓発となり楽しい活動だった。
 - ・あまり広くない大津百町館が会場であったため、これまで参加したイベント会場と違った感じがあった。館内が一日中、にぎやかで、出題者と回答者の子どもとの距離が近く、気楽で和やかだった。ふれあいが多くできたため充実感も大きかった。
 - ・昼食タイムがあり、スタッフも休憩ができて他の出展や出店も楽しむことができた。

(会場の様子)

